

## 2020年度 貸借対照表

2020年12月31日現在

特定非営利活動法人つばめスポーツ振興協会

(単位:円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金	95,151	
普通預金 みずほ銀行京橋支店	110,776	
流動資産合計		205,927
2 固定資産		
土地	0	
建物	0	
車両運搬具	0	
固定資産合計		0
資産合計		205,927
II 負債の部		
1 流動負債		
短期借入金	0	
未払費用	0	
流動負債合計		0
2 固定負債		
長期借入金	0	
退職給与引当金	0	
固定負債合計		0
負債合計		0
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産		34,670
当期正味財産増減額		171,257
正味財産合計		205,927
負債及び正味財産合計		205,927

(正味財産増減の部)			
V 正味財産増加の部			
1 資産増加額			
当期収支差額(再掲)			171,257
2 負債減少額			0
増加額合計			171,257
VI 正味財産減少の部			
1 資産減少額			
当期収支差額(再掲)(マイナスの場合)			0
2 負債増加額			0
減少額合計			0
当期正味財産増加額(又は減少額)			171,257
前期繰越正味財産額			34,670
当期正味財産合計			205,927

(注記) . . . . . 備考の5を参照

(備考)

- 1 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とする。
- 2 タイトルの年度の後の空欄部分には、「特定非営利活動に係る事業」、又はその他の事業を行う場合にあっては、「その他の事業」と記載し、事業毎に区分して別業として作成する。
- 3 定款上、「その他の事業」に関する事項を定めている場合は、前事業年度に実施しなかった場合でも収入支出0円の収支計算書を作成する。
- 4 「事業費」とは、法人の事業の実施のために直接要する支出で、管理費以外のものをいい、会計処理上は、事業の種類毎に区分して記載する。事業費の例としては、「〇〇事業費」(注 当該事業の実施のために直接要する人件費・交通費等の費用が含まれる。)というように事業毎に記載する。
- 5 重要な会計方針等を計算書類に対する注記を欄外下に記載する。  
(重要な会計方針とは、原価償却の方法及び資金の範囲等をいう。)
- 6 管理費の支出規模(管理費の合計)は、総支出額(事業費及び管理費の総計)に占める割合の2分の1以下であることが必要。(事業費>管理費)  
(詳しくは東京都における運用方針参照のこと。)
- 7 特定非営利活動促進法第5条第1項により、その他の事業において収益を生じたときは、これを特定非営利活動のために使用しなければならないとあるので、その他の事業の収益は特定非営利活動に係る事業会計に全額繰り入れることが必要。  
(詳しくは東京都における運用方針参照のこと。)